



ふくせんレポート

2023

6|12

第15号

1面 理事長挨拶

2・3面 バリアフリー2023

4面 第4回福祉用具専門相談員研究大会

※「知識Plus」「住宅改修事例」は休載させていただきます

令和5年度理事長挨拶

**次期介護保険制度改正まで残り1年
本会が果たすべき役割について**

令和4年9月まで計6回にわたって開催された「介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会」での中間整理を踏まえ、その議論の場は、社会保障審議会介護保険部会及び介護給付費分科会に移るなど、次期制度改正議論が本格化する中で迎えた新年度、本会岩元理事長より、皆様にご挨拶申し上げます。

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会理事長の岩元でございます。正会員・FJC会員・賛助会員並びに理事・役員の皆様には、平素より、当協会の活動にご協力、ご支援を賜っております。ことに厚く御礼を申し上げます。

令和4年度も、コロナ禍に翻弄されるスタートでしたが、下期からは、コロナ禍前に近づく社会経済活動が戻り始めました。秋の国際福祉機器展H.C.R.や、令和5年4月のバリアフ



岩元 文雄 氏
(いわもと ふみお)
本会理事長

リー展では、本会出展ブースや対面形式でのセミナー会場、ブロック主催の集合型研修会の場において、直接お会いする機会が少しずつ増え、対面で交流することの喜びを改めて感じた1年でもありました。コロナ禍は、オンラインという新しい生活様式をもたらしたばかりではなく、あたりまえと感じていた対面の大切さを教えてくれたのかもかもしれません。

さて、次期介護保険制度改正の動向について、貸与・販売種目のあり方検討会での議論、その後に続く介護保険部会、給付費分科会においても、結論を導き出すためのデータや調査が決定的に不足しているといった課題が残ったことから、今年度も引き続き検討が行われます。

このデータ、調査不足の課題に対応

する取り組みの一つが老健事業ですが、令和4年度は、「福祉用具貸与等におけるサービスの見える化及びサービスの向上に資するPDCA推進に関する研究事業」に取り組みました。本事業で試行運用した福祉用具サービス計画書の改編様式は、今後の更なる質・サービスの向上に資するものとして、また、その先のLIFEにつながるものとして、会員の皆様にはぜひ知っていただきたい成果物のつととなります。

次期制度改正を目前に控え、貸与・販売種目のあり方検討会等の動向にはぜひ注視していただくとともに、本会はこれまで同様、貸与種目の堅持の立場から福祉用具サービスの有効性を強く発信していきたいと思っております。引き続きご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。